

株式会社 スマートエネルギー研究所

スマートハウスで広がる、今必要とされるエネルギーシステム



ゼロエネルギーハウスに注目が集まるなか、国内でもいち早くスマートハウスに着手したのがスマートエネルギー研究所だ。

「2009年、福岡で新たなエネルギーシステムを共同研究するプロジェクト、スマートハウスコンソーシアムを福岡市と有志による様々な業種の企業と立ち上げました。今でこそエネルギーシステムを搭載したスマートハウスは全国に広がっていますが、当時はまだ実験段階で試行錯誤しながら技術開発が進められました」

同社代表取締役の中村創一郎氏は振り返る。

もともと静岡に本社を持つ同社では、太陽電池、蓄電池、系統電力などがシステムとして統合された『スマートエネルギーシステム開発』において、エネルギー制御のためのパワーコンディショナーの企画・開発と、航空宇宙分野や自動車分野などで利用されているモデルベース開発を得意としている。これはさまざまなエネルギー源を融合させ、賢く使う、ハイブリッドカーのような複雑な技術だ。

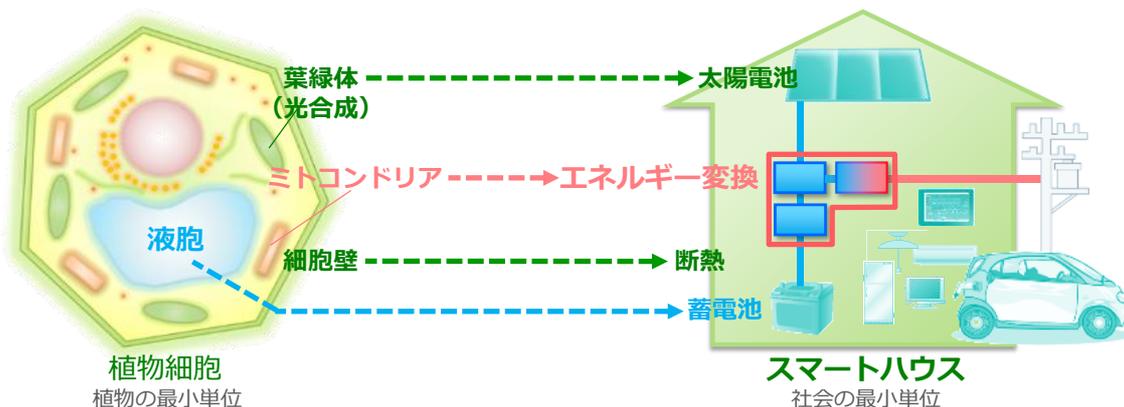
そんな同社が横浜市への進出の契機となったのが、YSC と呼ばれる「横浜スマートコミュニティ」だ。

革新技術が集結したスマートセルでわかったこと

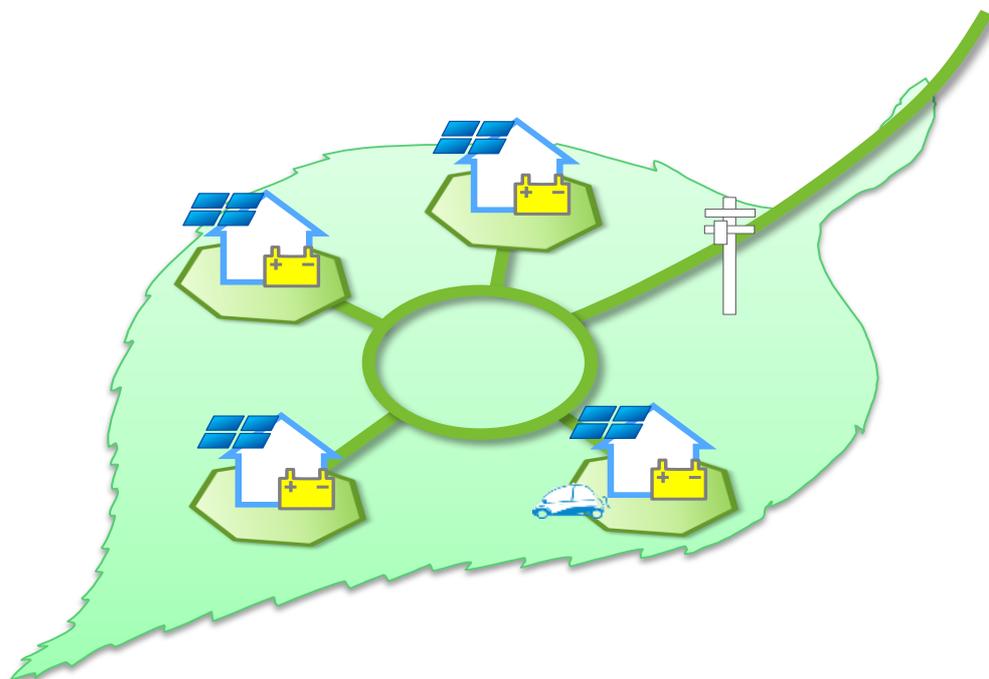
「横浜スマートコミュニティでは、2013年、横浜市、有志企業とともにスマートセルと呼ばれるスマートハウスを企画、運営しました。プロジェクトでは、スマートハウスの実証実験を行うため、さまざまな事業者に声をかけ、共同研究を行ってきました。このYSCでの活動を機に、横浜への本社移転を決意しました。」

スマートセルと呼ばれる実験棟では、アクティブ技術、パッシブ技術の両側面から研究開発が行われた。参画事業者は計16団体あり、エネルギーシステムを開発した村田製作所や、クラウドシステムを開発したユビキタス、高性能断熱材のBASF ジャパンなど、多種多様な事業者が集結し、知恵を出し合った。

「この実験を通して、国内外のとても多くの関心がスマートハウスに向けられていることを知りました。このプロジェクトで新たに開発した技術やその他のスマートエネルギー関連の素晴らしい技術はたくさんあります。スマートハウスの実現には、そうした技術をいかにつなげていくか。この実証実験を通して、いろいろな業界のメンバーが話し合う場があるという事がいかに重要かという事が分かりました。ここで得ることができたかけがえのない人とのつながりや知恵やノウハウは今後の活動に生かされていくことでしょう」



未来のまちづくりを実現するための自律分散型エネルギーシステム



またスマートエネルギーの未来像について、中村氏はさまざまな構想を描いている。

「自律性の高い災害に強い町を考えるなら、スマートハウスを増やししながらコミュニティを形成するということも考えられます。太陽光発電、蓄電池を備えたオフグリッドハウスを実現させていけば、これからはコミュニティ単位で自律分散型のエネルギーを持つこともできるようになります。そんな未来に向けて、私たちは技術開発を行いながら、いろいろな事業者とタッグを組んで、スマートコミュニティを作っていきたいですね」

会社概要

株式会社 スマートエナジー研究所

代表取締役社長：中村 創一郎

本社：横浜市港北区新横浜 2-12-1 新横浜光伸ビル 5F

TEL：045-620-0330 FAX：045-620-0378

設立：2009年9月

事業内容：実用的な自律分散型エネルギーシステムの研究と開発、スマートエネルギーの事業化に関するコンサルティング等。

URL：<http://www.smartenergy.co.jp>